

## 「アスナビ・チーム大分プロジェクト」エントリーシート

提出日 令和2年7月6日

ふりがな	くどう ゆうし	性別	生年月日・年齢	
氏名	工藤 湧士	男	西暦1998年 2月 17日 (22歳)	
競技・種目	ライフル射撃・ピストル			
出身地	大分県	就職を希望する時期		
現所属	同志社大学	令和 3年4月		
保有免許資格等	普通自動車免許(AT限定)			

## 【経歴】

年	月	学歴・職歴	
平成25年	3月	大分市立城南中学校 卒業	
平成25年	4月	大分県立由布高等学校 入学	
平成28年	3月	大分県立由布高等学校 卒業	
平成28年	4月	同志社大学商学部 入学	
令和3年	3月	同志社大学商学部 卒業見込み	

## ■主な競技成績

※直近の成績から記載すること

年	月	大会名	成績
令和元年	10月	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	2位
平成30年	10月	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	4位
平成29年	6月	ISSFジュニア世界選手権	出場(74位)
平成28年	12月	第9回アジアエアガン選手権大会	出場(7位)
平成28年	10月	第71回国民体育大会ライフル射撃競技	2位
平成28年	9月	世界大学射撃選手権	出場(36位)

## ■自己PR(競技で培った能力や経験、今後の競技目標、採用企業へ提供できるメリットなど)

私は射撃競技を8年間続けております。射撃競技を始めてからは、毎日ノートを活用し、計画を立て実行し、分析や評価をした上で改善することを徹底的に行ってきました。その結果、平成28年に出場した世界大学選手権では、自己ベストを出すことができました。その後の国体では、更に自己ベストを更新し、準優勝、また、アジアエアガン選手権大会では、7位の成績を残すことができました。

これらのことから、私は二つのことを学びました。一つ目は、毎日継続することで、きつい練習やトレーニングが習慣化され、続けやすくなること。二つ目は目標を設定し、そのために必要な戦略を考え、実行すれば結果に繋がるということです。

大学四年生の時は、体育会射撃部の主将を務めました。そこでは、組織としての責任の重さを学びました。他大学との関係作りの大切さや、社会における一般常識を学び、また、組織としてミスをした際、責任を間近で感じることもありました。このような経験を通し、同期や後輩と協力して組織を築き上げることや責任感を持つことの重要性を学びました。

今後の競技目標としては、国際大会においてメダルを獲得することです。世界で活躍することができれば、企業の活力にもなると思っております。

仕事面では、射撃で培った集中力や計画性、戦略を考える力、主将の経験を通じて得た社会の一般常識や責任感を活かし、考えながら働きたいと考えております。

入社後は、アスリートとしても社員としても成長していく人材となることを意識し、企業に貢献したいと考えております。

## 【支援先企業への情報】

※特に希望がなければ「なし」と記入

就職希望条件	
①職種・仕事内容 年収など	職種や仕事内容は営業、接客、サービスを考えております。
②勤務地	大分市
③勤務体制	週4日の練習時間の確保にて、平日1日勤務後練習。平日1日早上がり。土、日曜日休みを希望します。